

「声かけ・サポート運動」について

2016年10月4日
東京商工会議所

1. 声かけ・サポート運動の概要

1. 趣 旨：高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障害者、外国人等を社会全体で見守り支え合う機運を醸成させ、誰もが安心・安全・快適に暮らし過ごせる地域社会を実現するために、全所的に推進している運動。東京都等と連携し、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして未来に引き継いでいくことを目指していく。

- 高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障害者、外国人をはじめ、街なかなど様々な場面で困っている人に気付いたら、積極的に「声かけ」をする。
- 「声かけ」を通じて押し付けではなく、相手が求める範囲のお手伝いに努める。
- 「声かけ」を通じて、おもてなしや敬愛、善意の気運に満ち溢れ、誰もが安心・安全、快適に暮らし過ごせる地域社会の実現に貢献する。

2. 開 始：2015年10月8日（木）

3. 対 象：東商会員企業、事務局員

4. 内 容：▶ 賛同企業の募集
- ・特設ホームページ、東商新聞を通じて賛同企業を随時募集（賛同企業にはポスター、シール、宣言文を送付）
 - ▶ ログマークの展開
 - ・賛同企業が趣旨を広げるために自由に使用可能
 - ・東商職員の名刺、封筒等に展開
 - ▶ 本運動の趣旨の周知／事業展開
 - ・ポスターの全所・賛同企業における掲示
 - ・特別企画の実施
 - ▶ 東京都との連携
 - ・東京都「共助社会づくりを進めるための東京都指針」への掲載
 - ・「外国人おもてなし語学講座」の開催
 - ・東京都ヘルプマーク事業の周知協力



ログマーク



ポスター

2. 賛同企業における活動例

みずほフィナンシャルグループ
みずほ銀行都内全店舗に
ポスターを掲出



東京都民銀行
全店舗にポスターを掲出



東日本旅客鉄道

- ・23区内の全駅にポスターを掲出
- ・パンフレット「小さな旅」3月号に特集を掲載
- ・オリジナルポスターの作成・管内各駅への掲出



JR東京駅掲出の様子



パンフレット「小さな旅」

オリジナルポスターの作成

3-1. 特別企画「鉄道博物館・親子見学会」

1. 概 要：本運動の趣旨をお子様などより幅広い世代にご理解いただくために、東日本旅客鉄道の協力を得て実施。
2. 日 時：2016年3月19日（土）
3. 場 所：鉄道博物館
4. 参加者：51名（※うちお子様25名）
5. 内 容：○「声かけ・サポート運動」実演型レクチャー
高齢者や障害者など「声かけ・サポート」が必要な方に対して、どのように声かけや手助けを実施するのかを親子で実際に体験。参加者は、疑似駅ホームで、目の不自由な状態の体験や車いすの乗車など、サポートを受ける側の立場を体験した。



車いすの体験乗車



目の不自由な状態を体験している親に声をかけて乗車をサポートする子ども

<参加者の声>

- ▶ 目が不自由だと電車に乗る前、一歩踏み出すことさえ不安になると初めて実感した。
- ▶ 子どものみの体験ではなく、親も実際に体験することで一緒に勉強できた。
- ▶ 困っている人への声かけは勇気があるが、明日から自信を持ってサポートしたい。

3-2. 特別企画「そなエリア東京・親子見学会」

1. 概 要：本運動の趣旨をお子様などより幅広い世代にご理解いただくとともに防災意識を高めるために東京都、そなエリア東京の協力を得て実施。
2. 日 時：2016年10月1日（土）
3. 場 所：防災体験学習施設「そなエリア東京」
4. 参加者：38名（※うちお子様14名）
5. 内 容：○「東京直下72時間ツアー」参加（首都直下地震の発生から避難までを体験）
○防災ブック「東京防災」のポイント解説 ○お子様の知識を深める！「防災学習ゾーン」見学
6. その他：本事業はオリンピック・パラリンピック大会組織委員会の「東京2020応援プログラム」として実施。



「東京防災」のポイント解説

<参加者の声>

- ▶ 大地震が起きた際にはご近所の方をはじめお互いに助け合うことが大事だと思った。
- ▶ 「東京防災」は勉強になった。大地震時の安否確認や備蓄等の事前の備えなど、家庭の防災対策を話し合いたい。

4. 東京都「共助社会づくりを進めるための東京都指針」

1. 概 要：東京都が共助社会の構築を目的に2016年2月に策定した指針に本運動が掲載された。

<記載部分抜粋> 第5章 各主体に望まれる役割と取組「第4節 企業」

東京商工会議所が実施している「声かけ・サポート運動」等、多くの企業が集積する東京の特性を活かして、企業同士が主体的に連携し、活動を実施することで、社会全体のボランティア機運を醸成する。

5. 外国人おもてなし語学講座

1. 趣 旨：日本語の通じない外国の方が、街なかで困っているのを見かけた際に、道案内や問題解決のサポートができる方を育成するため、「おもてなしの心」と簡単な「英語」を学ぶ講座を東京都と共催で開催。
2. 内 容：[おもてなし講座] 3月23日・全1回、参加者35名
[おもてなし+語学講座] 4月12日～26日・全5回、参加者33名
3. その他：修了者は、東京都が2020年大会を見据えて養成している「外国人おもてなし語学ボランティア」として登録。※次回は11月～12月に開催予定。



グループディスカッションの様子



英語での道案内に挑戦する参加者

<参加者の声>

- ▶ 楽しく学べた。他の社員にも参加を勧めたい。
- ▶ 日本に良いイメージを持ってもらえるよう、おもてなしをしたい。
- ▶ 英語の技量ではなく、おもてなしの気持ちを伝えることが大事だと思った。
- ▶ 失敗を恐れず、早速明日から「声かけ・サポート」をしたい。